



平成27年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ  
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ  
(コード番号：9704 東証第1部)  
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹  
(TEL 03-3436-1860)

(訂正) 「平成25年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は平成25年8月13日に開示しました「平成25年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成27年3月20日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」および平成27年4月30日付「『平成26年12月期 有価証券報告書の提出』および『過年度に係る有価証券報告書等および内部統制報告書の訂正報告書の提出』並びに『過年度に係る決算短信等の訂正』に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

#### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月13日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東  
コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 TEL 03-3436-1860  
四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,387	124.6	<u>△39</u>	—	<u>△67</u>	—	<u>△116</u>	—
24年12月期第2四半期	1,507	197.2	<u>△75</u>	—	<u>△112</u>	—	<u>△89</u>	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △104百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 △152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	<u>△0.43</u>	—
24年12月期第2四半期	<u>△0.33</u>	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	<u>17,023</u>	<u>7,988</u>	<u>46.6</u>
24年12月期	<u>12,612</u>	<u>8,080</u>	<u>63.8</u>

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 7,939百万円 24年12月期 8,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成25年12月期末の配当は未定とさせていただきます。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	63.7	250	—	85	—	<u>△160</u>	—	<u>△0.58</u>

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	274,158,934株	24年12月期	274,158,934株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	163,930株	24年12月期	161,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	273,996,971株	24年12月期2Q	274,001,844株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. <u>継続企業の前提に関する重要事象等</u>	4
<u>4. 四半期連結財務諸表</u>	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後の金融・財政政策への期待感から、外国為替相場が円安基調に転換するとともに日経平均株価も上昇に転ずるなど、明るい兆しが見えはじめました。しかしながら、雇用および所得環境には依然として厳しさが残るなど、個人消費の節約志向は根強く、引続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年10月に当社系列ホテルに加わったホテル・アゴーラ リージェンシー堺を運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の連結業績は、売上高で3,387百万円（前年同四半期比124.6%増）と大幅に増加しましたが、利益面では、前年度の損益水準を回復するには至らず、営業損失は、前年同四半期比36百万円改善し、39百万円（前年同四半期は営業損失75百万円）となりました。また、営業外費用に豪州の持分法適用関連会社における分譲住宅の販売不振を要因とする投資損失43百万円を計上したこと等により、経常損失は67百万円（前年同四半期は経常損失112百万円）、当期に連結子会社化した匿名組合における共同出資者に対する収益分配部分として匿名組合損益分配額29百万円を計上したことにより、四半期純損失は116百万円（前年同四半期は四半期純損失89百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を連結子会社化したことが寄与し、売上高は2,933百万円（前年同四半期比160.2%増）と大幅な増加となりましたが、利益面では、前年度の損益水準を回復するには至らず、営業損失は、前年同四半期比33百万円改善の、26百万円（前年同四半期は営業損失59百万円）にとどまりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持向上と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めた結果、売上高はほぼ前年同四半期並みの143百万円（前年同四半期比4.3%減）となりましたが、入退去に伴う原状回復費用等の発生により、営業利益は67百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、販売価格帯の見直しによる顧客層拡大等、営業活動を強化した結果、売上高は303百万円（前年同四半期比48.3%増）と大幅な増加となり、営業利益は23百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ円安および香港株式市場の株安の影響等により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差益および評価損が発生したことにより、営業利益は6百万円（前年同四半期比76.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて35.0%増加し、17,023百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて21.1%増加し、2,743百万円となりました。これは開発事業等支出金が72百万円、現金及び預金が484百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて37.7%増加し、14,136百万円となりました。これは、建物及び構築物が3,952百万円、土地が1,799百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて99.3%増加し、9,035百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、1,763百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が70百万円、賞与引当金が8百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて157.7%増加し、7,271百万円となりました。これは、匿名組合出資預り金が2,894百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、7,988百万円となりました。これは、利益剰余金が116百万円減少し、新株予約権が12百万円、為替換算調整勘定が15百万円増加したことなどによります。

②キャッシュフローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ432百万円増加し、1,023百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は274百万円（前年同四半期は77百万円の支出）となりました。

これは主にその他の流動資産の減少額251百万円によるものであり、前年同四半期と比較して売上債権及び仕入債務が減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は58百万円（前年同四半期は357百万円の支出）となりました。

これは主に貸付けによる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2百万円（前年同四半期113百万円の支出）となりました。

これは主に短期借入金の純増加額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえまして、平成25年2月13日に公表しました平成25年12月期通期連結業績予想につきまして見直しを行いました。詳細につきましては、平成25年8月12日公表の、「業績予想の修正及び営業外収益の減少に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは継続的に営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況を解消すべく、主に以下の内容の諸施策を継続的に実施しております。

① 宿泊事業

守口ロイヤルパインズホテル（平成24年8月1日「ホテル・アゴーラ大阪守口」としてリニューアルオープン）、浅草ビスタホテル（平成24年7月27日「アゴーラ・プレイス浅草」としてリニューアルオープン）、リーガロイヤルホテル堺（平成24年10月1日「ホテル・アゴーラリージェンシー堺」としてリニューアルオープン）の取得等により大幅に事業を拡大してまいりました。今後も、経営資源を共有化することにより運營業務の集約・効率化を図るなど収益力の向上に取り組んでまいります。

② 住宅等不動産開発事業

所有している都内賃貸マンションは満室化を目標にコストの低減をはかり収益性を向上させてまいります。

③ 霊園事業

新しい納骨堂の建設を行い、納骨堂の販売に伴う大幅な売上の増加を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,320	1,018,497
売掛金	383,761	284,213
有価証券	256,773	316,464
貯蔵品	78,521	48,453
開発事業等支出金	<u>549,261</u>	<u>621,662</u>
その他	465,337	457,987
貸倒引当金	<u>△2,448</u>	<u>△3,325</u>
流動資産合計	<u>2,265,527</u>	<u>2,743,954</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	303,822	4,256,082
車両運搬具（純額）	6,849	6,038
工具、器具及び備品（純額）	47,173	105,280
土地	1,555,520	3,355,313
住宅用賃貸不動産（純額）	4,733,120	4,713,062
有形固定資産合計	<u>6,646,486</u>	<u>12,435,778</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	199	185
ソフトウェア	20,335	18,556
のれん	<u>1,369,906</u>	<u>1,322,977</u>
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	<u>1,395,805</u>	<u>1,347,083</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>1,307,643</u>	<u>53,192</u>
長期貸付金	253,430	216,537
長期未収入金	595,580	—
その他	70,660	88,002
貸倒引当金	<u>△4,200</u>	<u>△4,180</u>
投資その他の資産合計	<u>2,223,114</u>	<u>353,552</u>
固定資産合計	<u>10,265,406</u>	<u>14,136,414</u>
繰延資産	81,668	143,404
資産合計	<u>12,612,603</u>	<u>17,023,773</u>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	253,268	245,261
1年内返済予定の長期借入金	104,721	174,992
未払金	732,130	680,347
未払費用	179,929	155,999
未払法人税等	62,832	36,699
短期借入金	—	90,000
賞与引当金	28,000	36,995
ポイント引当金	7,006	884
その他	343,402	342,690
流動負債合計	<u>1,711,290</u>	<u>1,763,870</u>
固定負債		
長期借入金	1,942,982	3,505,255
匿名組合出資預り金	200,000	3,094,795
退職給付引当金	3,064	3,064
長期預り保証金	619,403	617,051
繰延税金負債	13,366	8,969
その他	42,360	42,246
固定負債合計	<u>2,821,177</u>	<u>7,271,383</u>
負債合計	<u>4,532,467</u>	<u>9,035,253</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△8,415,939</u>	<u>△8,532,460</u>
自己株式	<u>△12,104</u>	<u>△12,245</u>
株主資本合計	<u>8,093,751</u>	<u>7,977,089</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,222	—
為替換算調整勘定	<u>△52,866</u>	<u>△37,645</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△51,643</u>	<u>△37,645</u>
新株予約権	29,096	41,835
少数株主持分	8,932	7,239
純資産合計	<u>8,080,135</u>	<u>7,988,519</u>
負債純資産合計	<u>12,612,603</u>	<u>17,023,773</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)
売上高	1,507,948	3,387,021
売上原価	<u>1,291,286</u>	<u>3,061,132</u>
売上総利益	<u>216,661</u>	<u>325,889</u>
販売費及び一般管理費	<u>292,219</u>	<u>365,020</u>
営業損失 (△)	<u>△75,558</u>	<u>△39,131</u>
営業外収益		
受取利息	504	715
受取配当金	173	21
為替差益	4,461	34,233
消費税等免税益	21,334	31,483
その他	4,656	22,108
営業外収益合計	<u>31,131</u>	<u>88,562</u>
営業外費用		
支払利息	21,752	41,944
持分法による投資損失	<u>45,237</u>	<u>43,518</u>
開業費償却	—	22,758
その他	964	8,918
営業外費用合計	<u>67,954</u>	<u>117,139</u>
経常損失 (△)	<u>△112,381</u>	<u>△67,708</u>
特別利益		
受取補償金	2,814	—
新株予約権戻入益	47,952	—
投資有価証券売却益	—	1,817
特別利益合計	<u>50,767</u>	<u>1,817</u>
特別損失		
固定資産除却損	371	—
特別損失合計	<u>371</u>	<u>—</u>
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△61,985</u>	<u>△65,890</u>
匿名組合損益分配額	—	29,681
税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△61,985</u>	<u>△95,572</u>
法人税、住民税及び事業税	32,017	23,940
法人税等調整額	<u>△681</u>	<u>△1,285</u>
法人税等合計	<u>31,336</u>	<u>22,655</u>
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△93,322</u>	<u>△118,227</u>
少数株主損失 (△)	<u>△3,710</u>	<u>△1,707</u>
四半期純損失 (△)	<u>△89,611</u>	<u>△116,520</u>

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△93,322</u>	<u>△118,227</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,795	△1,222
為替換算調整勘定	<u>△60,702</u>	<u>15,221</u>
その他の包括利益合計	<u>△58,907</u>	<u>13,998</u>
四半期包括利益	<u>△152,229</u>	<u>△104,229</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△148,519</u>	<u>△102,521</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△3,710	△1,707

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△61,985</u>	<u>△95,572</u>
減価償却費	37,519	156,839
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△722	851
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	84	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,272	8,995
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△453	△5,948
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△173
受取利息及び受取配当金	△678	△736
支払利息	21,752	41,944
為替差損益 (△は益)	△4,638	△7,223
持分法による投資損益 (△は益)	<u>45,237</u>	<u>43,518</u>
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,817
のれん償却額	<u>50,538</u>	<u>47,085</u>
繰延資産償却額	—	21,258
新株予約権戻入益	△47,952	—
売上債権の増減額 (△は増加)	98,309	99,557
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△171	△59,690
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,476	30,068
開発事業支出金の増減額 (△は増加)	<u>△25,675</u>	<u>△18,776</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,261	△16,587
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,995	251,038
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,550	△86,878
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	701	0
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△5,253	△38,033
その他	△34,786	3,945
小計	<u>△26,233</u>	<u>373,663</u>
利息及び配当金の受取額	1,112	736
利息の支払額	△21,991	△48,480
法人税等の支払額	△30,718	△51,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△77,830</u>	<u>274,501</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	—
有形固定資産の取得による支出	△23,103	△6,063
無形固定資産の取得による支出	—	△321
投資有価証券の売却による収入	—	3,972
匿名組合出資金の払込による支出	△334,625	—
貸付けによる支出	—	△55,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△357,730</u>	<u>△58,336</u>

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	90,000
長期借入金の返済による支出	△118,170	△87,456
自己株式の取得による支出	△70	△141
少数株主からの払込みによる収入	5,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,240	2,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,055	△39,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△551,858	178,570
現金及び現金同等物の期首残高	1,531,854	590,835
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	253,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,996	1,023,264

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント利益又は損失 (△)	△59,119	75,992	△3,872	25,715	38,716	△114,274	△75,558

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,274千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,933,362	143,756	303,787	6,115	3,387,021	—	3,387,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,933,362	143,756	303,787	6,115	3,387,021	—	3,387,021
セグメント利益又は損失(△)	△26,115	67,982	23,155	6,115	71,137	△110,268	△39,131

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,268千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月13日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東  
コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 TEL 03-3436-1860  
四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,387	124.6	<u>△27</u>	—	<u>△56</u>	—	<u>△105</u>	—
24年12月期第2四半期	1,507	197.2	<u>△67</u>	—	<u>△103</u>	—	<u>△81</u>	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 408百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	<u>△0.38</u>	—
24年12月期第2四半期	<u>△0.30</u>	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	<u>21,306</u>	<u>12,270</u>	<u>57.4</u>
24年12月期	<u>16,382</u>	<u>11,849</u>	<u>72.1</u>

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 12,221百万円 24年12月期 11,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成25年12月期末の配当は未定とさせていただきます。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	63.7	250	—	85	—	<u>△160</u>	—	<u>△0.58</u>

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期2Q	274,158,934株	24年12月期	274,158,934株
25年12月期2Q	163,930株	24年12月期	161,030株
25年12月期2Q	273,996,971株	24年12月期2Q	274,001,844株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。



○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後の金融・財政政策への期待感から、外国為替相場が円安基調に転換するとともに日経平均株価も上昇に転ずるなど、明るい兆しが見えはじめました。しかしながら、雇用および所得環境には依然として厳しさが残るなど、個人消費の節約志向は根強く、引続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年10月に当社系列ホテルに加わったホテル・アゴーラ リージェンシー堺を運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の連結業績は、売上高で3,387百万円（前年同四半期比124.6%増）と大幅に増加しましたが、利益面では、前年度の損益水準を回復するには至らず、営業損失は、前年同四半期比39百万円改善し、27百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）となりました。また、営業外費用に豪州の持分法適用関連会社における分譲住宅の販売不振を要因とする投資損失43百万円を計上したこと等により、経常損失は56百万円（前年同四半期は経常損失103百万円）、当期に連結子会社化した匿名組合における共同出資者に対する収益分配部分として匿名組合損益分配額29百万円を計上したことにより、四半期純損失は105百万円（前年同四半期は四半期純損失81百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を連結子会社化したことが寄与し、売上高は2,933百万円（前年同四半期比160.2%増）と大幅な増加となりましたが、利益面では、前年度の損益水準を回復するには至らず、営業損失は、前年同四半期比33百万円改善の、26百万円（前年同四半期は営業損失59百万円）にとどまりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持向上と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めた結果、売上高はほぼ前年同四半期並みの143百万円（前年同四半期比4.3%減）となりましたが、入退去に伴う原状回復費用等の発生により、営業利益は67百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、販売価格帯の見直しによる顧客層拡大等、営業活動を強化した結果、売上高は303百万円（前年同四半期比48.3%増）と大幅な増加となり、営業利益は34百万円（前年同四半期比643.5%増）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ円安および香港株式市場の株安の影響等により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差益および評価損が発生したことにより、営業利益は6百万円（前年同四半期比76.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて30.1%増加し、21,306百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、8,347百万円となりました。これは開発事業等支出金が538百万円、現金及び預金が484百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて44.0%増加し、12,814百万円となりました。これは、建物及び構築物が3,952百万円、土地が1,799百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて99.3%増加し、9,035百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、1,763百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が70百万円、賞与引当金が8百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて157.7%増加し、7,271百万円となりました。これは、匿名組合出資預り金が2,894百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、12,270百万円となりました。これは、利益剰余金が105百万円減少し、新株予約権が12百万円、為替換算調整勘定が516百万円増加したことなどによります。

②キャッシュフローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ432百万円増加し、1,023百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は274百万円（前年同四半期は77百万円の支出）となりました。

これは主にその他の流動資産の減少額251百万円によるものであり、前年同四半期と比較して売上債権及び仕入債務が減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は58百万円（前年同四半期は357百万円の支出）となりました。

これは主に貸付けによる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2百万円（前年同四半期113百万円の支出）となりました。

これは主に短期借入金の純増加額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえまして、平成25年2月13日に公表しました平成25年12月期通期連結業績予想につきまして見直しを行いました。詳細につきましては、平成25年8月12日公表の、「業績予想の修正及び営業外収益の減少に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,320	1,018,497
売掛金	383,761	284,213
有価証券	256,773	316,464
貯蔵品	78,521	48,453
開発事業等支出金	<u>5,687,239</u>	<u>6,225,596</u>
その他	465,337	457,987
貸倒引当金	<u>△2,448</u>	<u>△3,325</u>
流動資産合計	<u>7,403,505</u>	<u>8,347,887</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	303,822	4,256,082
車両運搬具（純額）	6,849	6,038
工具、器具及び備品（純額）	47,173	105,280
土地	1,555,520	3,355,313
住宅用賃貸不動産（純額）	4,733,120	4,713,062
有形固定資産合計	<u>6,646,486</u>	<u>12,435,778</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	199	185
ソフトウェア	20,335	18,556
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	<u>25,898</u>	<u>24,105</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>1,309,094</u>	<u>54,542</u>
長期貸付金	253,430	216,537
長期未収入金	595,580	—
その他	70,660	88,002
貸倒引当金	<u>△4,200</u>	<u>△4,180</u>
投資その他の資産合計	<u>2,224,564</u>	<u>354,902</u>
固定資産合計	<u>8,896,950</u>	<u>12,814,787</u>
繰延資産	81,668	143,404
資産合計	<u>16,382,123</u>	<u>21,306,080</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	253,268	245,261
1年内返済予定の長期借入金	104,721	174,992
未払金	732,130	680,347
未払費用	179,929	155,999
未払法人税等	62,832	36,699
短期借入金	—	90,000
賞与引当金	28,000	36,995
ポイント引当金	7,006	884
その他	343,402	342,690
流動負債合計	<u>1,711,290</u>	<u>1,763,870</u>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,942,982	3,505,255
匿名組合出資預り金	200,000	3,094,795
退職給付引当金	3,064	3,064
長期預り保証金	619,403	617,051
繰延税金負債	13,366	8,969
その他	42,360	42,246
固定負債合計	<u>2,821,177</u>	<u>7,271,383</u>
負債合計	<u>4,532,467</u>	<u>9,035,253</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△2,563,447</u>	<u>△2,668,802</u>
自己株式	<u>△12,104</u>	<u>△12,245</u>
株主資本合計	<u>13,946,243</u>	<u>13,840,747</u>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,222	—
為替換算調整勘定	<u>△2,135,837</u>	<u>△1,618,995</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△2,134,615</u>	<u>△1,618,995</u>
新株予約権	29,096	41,835
少数株主持分	8,932	7,239
純資産合計	<u>11,849,656</u>	<u>12,270,826</u>
負債純資産合計	<u>16,382,123</u>	<u>21,306,080</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)
売上高	1,507,948	3,387,021
売上原価	<u>1,329,714</u>	<u>3,096,796</u>
売上総利益	<u>178,233</u>	<u>290,225</u>
販売費及び一般管理費	<u>245,289</u>	<u>318,091</u>
営業損失(△)	<u>△67,055</u>	<u>△27,866</u>
営業外収益		
受取利息	504	715
受取配当金	173	21
為替差益	4,461	34,233
消費税等免税益	21,334	31,483
その他	4,656	22,108
営業外収益合計	<u>31,131</u>	<u>88,562</u>
営業外費用		
支払利息	21,752	41,944
持分法による投資損失	<u>45,263</u>	<u>43,618</u>
開業費償却	—	22,758
その他	964	8,918
営業外費用合計	<u>67,980</u>	<u>117,239</u>
経常損失(△)	<u>△103,905</u>	<u>△56,543</u>
特別利益		
受取補償金	2,814	—
新株予約権戻入益	47,952	—
投資有価証券売却益	—	1,817
特別利益合計	<u>50,767</u>	<u>1,817</u>
特別損失		
固定資産除却損	371	—
特別損失合計	<u>371</u>	<u>—</u>
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△53,509</u>	<u>△54,725</u>
匿名組合損益分配額	—	29,681
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△53,509</u>	<u>△84,407</u>
法人税、住民税及び事業税	32,017	23,940
法人税等調整額	<u>△681</u>	<u>△1,285</u>
法人税等合計	<u>31,336</u>	<u>22,655</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△84,845</u>	<u>△107,062</u>
少数株主損失(△)	<u>△3,710</u>	<u>△1,707</u>
四半期純損失(△)	<u>△81,135</u>	<u>△105,355</u>

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△84,845</u>	<u>△107,062</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,795	△1,222
為替換算調整勘定	<u>77,047</u>	<u>516,841</u>
その他の包括利益合計	<u>78,842</u>	<u>515,619</u>
四半期包括利益	<u>△6,003</u>	<u>408,556</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,292</u>	<u>410,264</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△3,710	△1,707



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△53,509</u>	<u>△84,407</u>
減価償却費	37,519	156,839
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△722	851
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	84	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,272	8,995
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△453	△5,948
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△173
受取利息及び受取配当金	△678	△736
支払利息	21,752	41,944
為替差損益 (△は益)	△4,638	△7,223
持分法による投資損益 (△は益)	<u>45,263</u>	<u>43,618</u>
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,817
のれん償却額	<u>3,608</u>	<u>155</u>
繰延資産償却額	—	21,258
新株予約権戻入益	△47,952	—
売上債権の増減額 (△は増加)	98,309	99,557
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△171	△59,690
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,476	30,068
開発事業支出金の増減額 (△は増加)	<u>12,751</u>	<u>16,887</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,261	△16,587
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,995	251,038
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,550	△86,878
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	701	0
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△5,253	△38,033
その他	△34,786	3,945
小計	<u>△26,233</u>	<u>373,663</u>
利息及び配当金の受取額	1,112	736
利息の支払額	△21,991	△48,480
法人税等の支払額	△30,718	△51,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△77,830</u>	<u>274,501</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	—
有形固定資産の取得による支出	△23,103	△6,063
無形固定資産の取得による支出	—	△321
投資有価証券の売却による収入	—	3,972
匿名組合出資金の払込による支出	△334,625	—
貸付けによる支出	—	△55,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△357,730</u>	<u>△58,336</u>

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	90,000
長期借入金の返済による支出	△118,170	△87,456
自己株式の取得による支出	△70	△141
少数株主からの払込みによる収入	5,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,240	2,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,055	△39,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△551,858	178,570
現金及び現金同等物の期首残高	1,531,854	590,835
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	253,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,996	1,023,264

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,127,187	150,262	204,782	25,715	1,507,948	—	1,507,948
セグメント利益又は損失 (△)	△59,119	75,992	<u>4,629</u>	25,715	<u>47,218</u>	△114,274	<u>△67,055</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,274千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,933,362	143,756	303,787	6,115	3,387,021	—	3,387,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,933,362	143,756	303,787	6,115	3,387,021	—	3,387,021
セグメント利益又は損失(△)	△26,115	67,982	<u>34,420</u>	6,115	<u>82,402</u>	△110,268	<u>△27,866</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,268千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。